

# 飛躍

HIYAKU

第427号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2023年3月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

## 卒業おめでとう!!

TOP\*NEWS

高校・中等部第3学年 総長賞・総代・各賞受賞者決まる

高校吹奏楽部 第46回東京都アンサンブルコンテスト金賞 全国大会へ

高  
校

東海大学総長賞  
2組 荻上 舞



卒業生総代  
4組 志摩 皓仁



東海大学生徒会功労賞  
10組 原 希々花



優等賞

10組 柳澤 孝太



3力年皆勤賞(代表)

1組 小野 陽介



中  
等  
部

東海大学総長賞  
A組 中木 一誠



卒業生総代  
B組 佐藤 亜美



東海大学生徒会功労賞  
A組 榊原 駿



優等賞

A組 小山 隼汰



3力年皆勤賞(代表)

B組 長崎 巧



# 2022年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました東海大学総長賞、卒業生総代、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3カ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前日の「3年生を送る会」で以下の26名と2団体の日頃の努力に対して表彰します。

## 高 校

<b>東海大学奨学生</b>  5組 住田 旺翼	<b>東海大学特別奨励推薦(代表)</b>  6組 桑島 琴妃	<b>3カ年皆勤賞(代表)</b>  3組 野村 怜詩	<b>1カ年皆勤賞(代表)</b>  9組 大山 美沙都	<b>1カ年皆勤賞(代表)</b>  4組 清瀧 圭恵子
<b>東京都知事賞</b>  1組 五味淵 愛叶	<b>日本私立中学高等学校連合会賞</b>  6組 篠田 圭佑	<b>東京都私学財団奨励賞</b>  4組 有坂 沙紋	<b>東京都私学財団文化・スポーツ活動賞</b> 吹奏楽部(マーチング)  6組 廣瀬 梨里子	
<b>東京都高等学校文化活動優良賞</b>  10組 金子 鈴佳		<b>東京都高等学校体育連盟柔道賞</b>  2組 藤田 賢人		<b>東京都高等学校野球連盟賞</b>  6組 宮田 伝蔵
<b>東京都高等学校軽音楽連盟賞</b>  4組 山中 天斗		<b>東京都高等学校ソフトテニス連盟賞</b>  2組 安達 竣平		<b>東京都私立中学高等学校協会表彰</b> 吹奏楽部(コンクール)  6組 藤田 青空
<b>東京都高等学校文化活動優良賞</b>  10組 島津 郁斗		<b>東京都高等学校体育連盟弓道専門部功労賞</b>  6組 藤田 青空		<b>東京都私立中学高等学校協会表彰</b> 吹奏楽部(コンクール)  6組 藤田 青空
<b>東京都高等学校文化活動優良賞</b>  10組 金子 鈴佳		<b>東京都高等学校体育連盟柔道賞</b>  2組 藤田 賢人		<b>東京都私立中学高等学校協会表彰</b> 吹奏楽部(コンクール)  6組 藤田 青空
<b>東京都高等学校文化活動優良賞</b>  10組 島津 郁斗		<b>東京都高等学校体育連盟弓道専門部功労賞</b>  6組 藤田 青空		<b>東京都私立中学高等学校協会表彰</b> 吹奏楽部(コンクール)  6組 藤田 青空

## 中 等 部

<b>3カ年皆勤賞(代表)</b>  A組 内海 多佳音	<b>1カ年皆勤賞(代表)</b>  B組 鈴木 励	<b>1カ年皆勤賞(代表)</b>  B組 北村 俊人	<b>日本私立中学高等学校連合会賞</b>  A組 加藤 和奏	<b>東京都体育協会優良生徒</b>  A組 田 祐介
<b>東京都私立中学高等学校協会表彰</b> 吹奏楽部(コンクール)  A組 大野 いずみ				

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。 2023年2月16日現在

# 卒業する皆さんへ

## 卒業する3年生の皆さんへ

高校生徒会会長 2年10組 須藤 礼名



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

私が先輩方にお世話になったのは、主に部活動と生徒会活動、そして行事です。3年生の皆さんは、私たち後輩が悩んでいたり、わからないことがあった時はいつもの確かなアドバイスをくださったり、応援してくださいました。大変なこと、つらいこともたくさんあったと思いますが、どんな時でも先輩方はいつも笑顔で後輩を引っ張ってくださり、楽しむところでは一緒に楽しんでくださいました。そんな皆さんを心から尊敬しているのと同時に卒業を寂しくも思っています。私たち後輩は、春から「先輩」になります。私たち2年生は最高学年になり、1年生は初めての後輩ができて、戸惑ったり、悩んだりすることがたくさんあると思います。そんな時こそ、今まで先輩がしてくださったことを思い出して、私たちに精いっぱい努力し、次にお会いした時に先輩方が誇れるような後輩になりたいと思います。

今までお世話になりました。3年生の皆さんが笑顔溢れる素敵な日々を歩まれることを願っております。

## 夢に向かってのスタート

後援会会長 山本 延忠



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。この3年間、いかがだったでしょうか？入学前に思い描いていた学校生活を送ることはできましたか？たくさんの友達・たくさんの思い出はできましたか？

今年卒業する皆さんは入学式もままならず、まさに「コロナ世代」と呼ばれる年代です。入学後も登校はできず、友達にも会えない日々が続きました。しかし、皆さんの努力は言うまでもなく、先生方や家族・友達との協力・支援によって、制約はあるもののいろいろな行事も実施できるようになり、中等部の運動会や剛健旅行、高校生の建学祭、3年間で唯一の宿泊行事、研修旅行も実施され、そして卒業式も行われます。高校3年生の多くの人が産まれた2004年のヒット曲に、ゆずの「栄光の架橋」があります。中等部3年生の多くの人が産まれた2007年には、嵐の「We can make it!」があります。特に「栄光の架橋」は、その年のNHKのアテネオリンピックテーマソングとして、体操男子団体金メダルのシーンで多くの人の記憶に残っていると思います。どちらの曲も、自分を鼓舞して目標に向かって努力し、夢を叶えようといった内容の自分への応援歌ではないでしょうか。小さい頃からの夢を叶えるために高輪台に来た人、この3年間で新しい夢を見つけた人、まだ少しだけ迷っている人、いろいろな人がいると思いますが、「コロナ世代」を言い訳にすることなく、逆に「コロナ世代」だからこそできるんだと、胸をはって自分を信じて夢に向かって進んでください。

卒業式は中等部・高校3年間に終わりを告げると同時に次のステップに進むためのスタートです。皆さんの未来が光り輝くものになるよう祈っています。

## スペシャリストを目指そう!

部活動後援会会長 竹中 輝夫



卒業する皆さん、おめでとうございます。3年前の入学式で私は皆さんに「付属校のメリットを活かし、放課後の時間を自分の得意分野を探し、伸ばす時間に使ってください」とお願いしました。皆さんは実行できましたか？

と言ってもコロナ禍という制約された環境下で、戸惑いながら過ごした3年間だったと思います。一方この3年間で働く環境も大きく変わってきています。

在宅勤務を導入する企業も増える中で、自分の得意分野を持ち、スペシャリストを目指す人材を求めている企業が多くなってきています。そしてオンライン授業や部活動を、支えているITを活用した働き方や仕事がこの先の社会では重要になります。

今までは職務を限定せず、総合的なスキルを持つ人材を企業は雇用してきました。しかし終身雇用が終焉を迎え始めたこれからは、専門性の高いスキルを持つ人材、スペシャリストを雇用する企業が増えてきます。企業が必要とするスキルを持つ人材を積極的に採用する人事制度が変わってきています。

IT、IoT、AIの時代。モノづくりは中国、ベトナム、インドが中心となり、国内の多くの企業が求めているのは創造力、企画力、提案力を備えた専門スキルを持つ人材です。最近では自ら起業する人(スタートアップ)も増えています。

高校で、自分の得意分野を見極め、大学で得意分野を深掘りし、時代に即したスペシャリストになる。一つの会社に縛られることなく、自分のスキルを活かせる会社があれば転職し、飛躍するために「得意分野」を身につけることに、積極的に取り組んでください。皆さんの今後の活躍を期待しています。

## 希望を忘れずに

高輪会会長 内村 宏幸



暖かな春の訪れを感じるこの良き日に、皆様のご卒業されますことを心からお祝い申し上げます。

さて、長く続いてきた新型コロナウイルス感染症により、勉強・部活動や学校行事等、大変苦労されたことと察しています。しかし、皆様におかれましては学校生活を通し、さまざまな思い出を胸に重ねてきたことと思います。

これから、それぞれの目標へ向かい旅立ちますが、先輩OBとして申し上げておきたいことがあります。

初めに申し上げたいのは、自己の目標を定め決意することです。そして、これだけはやり遂げるのだと、固く、固く、決め込むことです。そう決意すれば、結果は必ず付いてくると信じて出発することです。

次に、皆様は本校で学び、自身を磨き鍛え、これから人格を陶冶されていくことと思いますが、大切なことは、人と人の絆を育むことです。人間は他者との関係性の中で磨かれるものだからです。ですから、人と人の結び付きを大切にしてください。

皆さんは若く、希望溢れる未来を象徴しています。これから元気に明るく、自己の目標をぜひ、達成させてください。

最後に皆様、今まで育ててくださった保護者や先生方の温かい気持ちにこたえて、これから新しい一歩を踏み出していけることをお慶び申し上げます。決して焦らず、さまざまなことを乗り越えていけることを願っております。その時に心の糧になるのが、この学校で学んだ3年間の時間の集積だと思います。それに感謝し、ますます活躍されていくことを心より願っております。また、保護者の皆様、校長先生をはじめ、ご指導くださった先生方に感謝の意を申し上げます。

## 2022年度 卒業記念品紹介

高等学校第74回、中等部第14回の卒業記念品として、以下のものを贈呈していただきました。大切に使用していただけます。本当にありがとうございました。

- 演台 1台
- トレーニング機器 3台



演台



パーチカルロー

レッグカール

レッグプレス

## 警視庁と東京防犯協会連合会より感謝状をいただきました!



これまで、吹奏楽部が交通安全イベントに参加したり、美術部が防犯ポスターを作成したりするなど、地域の安全活動に協力してきたことに対して、警視庁と東京防犯協会連合会より感謝状をいただきましたのでご紹介いたします。



並木唯菜さん(2年5組)



金子鈴佳さん(3年10組)

## カナダ中期留学……体験報告

3年2組 中尾 隼哉

以前から留学したいという思いがあり、今回カナダ留学の機会があったので思い切って行きました。行ってから1週間は時差ボケ、言語の壁、食生活の違いにより体調が万全ではなかったです。最初の2週間はオリエンテーションとして日本人だけのクラスで授業を受けました。しかし、1カ月が経ち新年を迎えるとそれぞれが選んだ授業が始まり、現地の友達もたくさんできるようになり、さらには英語力(特にスピーキング力とコミュニケーション能力)も格段についてきました。

カナダに行って一番気づいたことは、挨拶や感謝の言葉を尊重することです。私は毎朝スクールバスで学校に通っていたのですが、バスに乗る時と降りる時に“Good morning.”や“Thank you. Have a good day.”といった挨拶を毎回していました。それをするとうバスの運転手さんも必ず挨拶を返してくれますし、友達にも大きい声で名前を呼ばれるようになりました。感謝の言葉も夕食を作ってくれたホストマザーに対して、“Thank you for dinner.”と言ったり、送り迎えをしてもらったら“Thank you for driving.”を忘れずに言ったりしていました。日本では当たり前だと思っていたことでも、感謝をいざ言葉にして出してみると、日本にいた時には気づくことができなかった繊細で重要なことも発見することができました。日本にいた時ははたらくも躊躇して結局中途半端な挨拶になってしまっていたのも、留学を通して基本的なこと(挨拶や感謝)を実践できたので、自らのステップアップにつながりました。

もう一つ日本との違いに気づいたことがあります。それは土日の過ごし方です。日本ではだらだら起きて、なんとなく土日を過ごしていました。正直楽しくはなかったです。ところがこっちは来てみると、土日はパーティーに行ったり、どこか行きたいところがあったら連れていってもらったりと、暇をしてスマホをいじっている時間などあまりなく、充実した休日を過ごすことができました。この時期にこの経験ができるのは大変貴重なので、この経験を活かして日本に帰ってからもこの精神を忘れずに生きていきたいです。



## SSH活動報告

### 海外校との国際共同课题研究

SSHクラスの一部の生徒が、タイ王国のプリンセス・チュラポーン・サイエンス・ハイスクール・トラン校と共同课题研究を行いました。3年生8件、2年生1件のテーマで、オンラインツールを使って情報交換をしながら共同研究を進めました。1月12日には、3年生がタイの生徒とオンライン発表会を実施し、その成果を共有しました。

### タイの高校生との共同研究を終えて

3年10組 岡本 大悟

僕たちのグループは、「ポリ乳酸の海洋中分解」をテーマに半年間、タイの生徒と共同研究を行いました。この期間中、オンラインミーティングを7回行いました。はじめは説明や質疑応答がうまくいきませんが、回数を重ねることで少しずつ話せるようになっていきました。最後のミーティングでは自分が話した英語が相手にしっかり伝わり、本当にやってよかったと思いました。また、1月12日の発表会では、これまでのミーティングの成果を出して無事に英語で発表することができました。この共同研究ができたのも、小松原先生をはじめ多くの先生方のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。



共同研究参加の感謝状をいただきました

### サイエンス基礎・科学英語プレゼンテーション講座

1年生サイエンスクラスでは、ギャリー・ヴィアヘラー先生と幸代・ヴィアヘラー先生による科学英語プレゼンテーション講座を4回にわたり実施しました。ギャリー先生は歴代の日本人宇宙飛行士の方々に英語指導をされた先生であり、本校でも毎年、高校生向けの科学プレゼンテーション指導をしていただいています。今年度も、科学者として必要なプレゼンテーション技術について、わかりやすい英語で指導していただきました。

### ギャリー講座で学んだこと

1年10組 時 澗

I think Gary's lecture was very useful and enjoyable because I learned a lot. They taught me how to do an interesting and impressive presentation by using gestures, movements and footwork. Firstly, they told us to think of a science-related subject and to think of at least three interesting topics in this subject. They then showed us how to present in a variety of ways that were easy to remember. For example, by asking and answering rhetorical questions to the audiences, and describing the topic in a positive as well as in a negative direction. Plus, using teamwork to make a speech not only improved our communication skill but also boosted our team spirit. I think this information is very important, especially for dealing with various situations in the future.

ギャリー講座はとても有益で、楽しく多くのことを学びました。ジェスチャーや声のトーンを変えることなど、面白く印象的なプレゼンテーションの仕方を教えていただきました。講義では科学に関するテーマを考え、その中で3つの興味深いトピックを思い浮かべようと言われました。そして、わかりやすいようにいろいろな方法で発表することを学びました。例えば、聴衆に修辭的な質問を投げかけることや、トピックについてポジティブな点だけでなくネガティブな点も説明するなどです。また、チームで協力しスピーチをすることで、コミュニケーション能力とチーム意識の両方が高まります。今回の講座では、将来さまざまな状況に対応するために必要なことを学びました。

### アイコンタクトの大切さ

1年10組 ヘッサ アル サナディ

I was able to learn how to make eye contact in Mr. Garry's class. At first, I didn't know where to look while speaking, but as the class went on, I was able to make eye contact and speak confidently. The way that he taught us was also funny and I had a lot of fun learning from him. I will remember the 3 rules whenever I make a speech or a presentation in the future. It was a great experience to have my skills improved.

私はギャリー講座で、特にアイコンタクトの仕方を学ぶことができました。最初はどこを見て話せばいいかわかりませんでしたが、回数を重ねるごとにアイコンタクトがとれるようになり、前を見て自信を持って話すことができるようになりました。ギャリー先生の教え方も面白く、とても楽しく学ぶことができました。自分のプレゼンテーションのスキルが上がっていくのを感じられて、とてもいい経験になりました。今後、スピーチやプレゼンテーションをするときは、ギャリー先生に教わったことを忘れないようにしたいと思います。



ギャリー先生による原稿作成指導



チームで役割を分担してプレゼンテーション



細かくアドバイスをいただきました

# 学年だより 中1

## Tokyo Sightseeing Tour ～英語でサバイバル!～

2月3日、18名のネイティブスピーカーの先生方と共に浅草寺、東京スカイツリー、上野動物園を訪れる今年度最後の行事Tokyo Sightseeing Tourが行われました。授業で習った英語表現を駆使して、一生懸命英語でコミュニケーションを取りました。生徒のさまざまな感想をご紹介します。

A組

- 石井 健太** 浅草の説明や東京スカイツリーの説明を英語でするのが大変でしたが、外国の人とも楽しくコミュニケーションできたので、もっと英語を覚えたいと思いました。
- 江田 湊太郎** 先生に英語で質問することはかなりできたのですが、自分のことを説明するのがあまりできなくて、日本語が入ってしまうことが多々あって勉強が足りないなと思いました。しかし先生の言っていることは意外にわかったので、すごく嬉しかったです。
- 岡 遼太郎** 机に座って勉強するより、実際にその言語を使って会話した方がはるかに記憶に残るということを学びました。僕は、週1回ネイティブスピーカーと話せるプロジェクトに参加していますが、これを機にもっと頻りにネイティブスピーカーと話そうと思いました。それは時間が経つにつれ、ネイティブスピーカーの言っている言葉の意味がわかってきたからです。半日でしたが、大きな気づきと、素晴らしい経験ができました。
- 鹿島 鴻** いつも学んでいる英語が実践でも使えることがわかった。また、しおりに記録することによって、いろいろな単語のスペルを覚えることもできた。今回学んだことを生かして、授業で学んだ英語を率先して使っていきたくと思った。
- 勝野 瑛太** 今知っている英語だけじゃあまり説明ができないことを痛感しました。だから、もっとしっかりと英単語を覚えるようにしたいし、もっと英語ができるようになりたいです。
- 島田 理玖** 外国人の先生がみんなフレンドリーで話しやすい。文化が違う、日本の文化を英語で話さなければならなかった、班のみなどで相談しながら説明した。日本人とは違い、みんなリアクションが大きくて楽しかった。
- 廣瀬 成** WhatやDoなどの疑問文や答える時、英語の授業で出てきた例文と同じような文だったので、勉強は無駄にならないとわかった。今後も中3のオーストラリア旅行に向けてしっかり勉強したいです。

A組



B組



B組

- 澤井 ももこ** 今回学んだことは、文化の違いです。なぜなら最初の浅草でお店を探す課題で、羽子板の問題がありましたが、他国にはそのようなものはなく、日本人の私でもあまり触れたことのないものだったので、伝え方にも苦戦してしまっ。また英語だけの日があってもいいかなと思いました。中3のオーストラリア研修旅行が楽しみです。
- 寺岡 崇斗** 今回の校外学習で学んだことは、英語で話す時は、会話と同じレベルでジェスチャーを使って、説明したり、話したり、相手を必ず打つことが特に大切だということを知りました。外国人の先生と会話したおかげで、観光に来ている外国人に話しかけられても、答えられる自信ができました。
- 中込 紫門** 今回の授業を受けて、実際に英語だけで話すことの難しさや、友達と協力したら自分たちでも会話が通じるということを知りました。これを自信にしてこれからも英語の勉強をしていきたいと思います。また、改めて東京は伝統が残っていたり、素晴らしい所がたくさんあることも学びました。
- 火山 開登** 他の言語を一つ覚えるだけでなく、他国の人とコミュニケーションを取れるようになることがわかりました。コミュニケーションを取っていくうちに仲良くなれて、相手の国の文化を知れるチャンスでもあると気づきました。
- 町田 峻太** 私は英語が好きでもないし、得意でもないし、どちらかと言えば苦手なので、先生の言っていることがわかるか不安でした。しかし少し前から英語の勉強を頑張るよう意識していたので、わからない部分もありましたが、大体外国人の先生が言っていることがわかってホッとしました。
- 保田 桃佳** 外国人の先生は、体全体を使ってコミュニケーションを取ろうとしていて、気持ちが伝わってきた。相手の目を見て、思いやりを持って会話をすることが大切さを学んだ。将来は世界中の人たちと英語を通じて楽しくコミュニケーションを取りながらつながれるようになりたいと思います。
- 山本 心利** 英語の文の構成や単語を覚えてわかってはいるつもりでも、実際に話すとなると、頭の中でうまく文が構成できずうまく話せませんでした。ただ、ちゃんと話せなくても、ジェスチャーや単語をつなぎながら話して、相手に伝えようと頑張ることが大事だと今回学びました。英語や英会話の授業でちゃんと学びながら、もっとうまく英語をしゃべれるように頑張りたいと思います。



# 学年だより 中2

## 今年度を振り返って

中等部2年を通して「自分が成長したと思ったこと」「年度初めに立てた個人目標や学級目標について」「1年間で一番の思い出」など、1年を振り返ってもらいました。さまざまな活動を通して同級生と仲良くなれたという意見が多く、今年度の学年目標「仲仁」を体現している学年となりました。写真は授業風景です。



技術の工作



体育の柔道

### 「心が鍛えられた」

A組 生方 康平

私は「鍛」の漢字を目標に設定しました。その頃より現在の私の心は鍛えられていると思います。その証拠に、私が2学年で成し遂げたことはたくさんあります。成績の向上や他人とのうまい付き合い方など、昨年よりもできることや体験したことが増えた気がします。最高学年になれば今まで以上にできることが増えるので、自分をさらに高めたいです。

### 「成し遂げたこと」

A組 永安 真一郎

私が選んだ漢字1文字は「敬」と書きました。なぜかという、自分が1年生の時に尊敬していた先輩たちのように、自分も新しく入ってきた1年生に尊敬される先輩になるといった意味で書きました。そして、この前後輩から「一番話しやすい先輩です」と言われ、先輩として信頼されていることを自覚しました。今年度の目標を達成することができたと思います。

### 「振り返り」

A組 望月 優奈

私は、中等部2年生の最初に「軸」という目標を立てました。心や体も真っすぐでいる2年生になりたいと思って、「軸」という言葉にしました。自分なりに真っすぐでいられた1年だったと思います。学年目標「仲仁」や学級目標「日月絆愛」も成し遂げられたと思います。なぜかという、学年での問題が少なく、みんな元気に学校に来られているからです。これからも仲の良い学年でいたいです。

### 「成長までの過程」

B組 青木 莉奈

私が中等部2年生になって頑張ったことは、人前での発表です。以前から人前での発表が苦手で、慣れなきゃいけないと思っていました。発表の機会があるごとに、緊張せずに大きな声で発表できるように家で何回も発表の練習をしてみたり、内容の改善を行ってきました。これからも発表の回数を重ねて、もっと上手になれるように頑張ります。

### 「感じたこと」

B組 伊藤 愛恵

中1の時とは違い、中2では後輩ができた、周りの子と仲が深まったりと、中2になってから成長したことや変化したことがたくさんありました。その中でも、体育祭が特に印象に残っています。リレーではバトンを渡し、声を掛け合いながら全力で走り、みんなで協力しているなど感じる競技であり、とても楽しく取り組みめたことが印象に残っています。これからもみんなで協力して何かに挑戦したいです。

### 「目標に向けて」

B組 徳永 聖直

昨年5月に立てた漢字1字の目標は「考」という字です。理由は、「将来のことをよく考えて、人に迷惑をかけないように行動していく」という目標を立てたからです。東海大学の学部を調べると、自分の好きな動物に関する学部や、親と同じ職業に関する学部があり、将来について考えることができていると思いました。今後は「人に迷惑をかけない」ということも達成していきたいです。



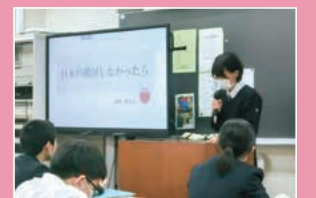
家庭科の栽培



理科の足つぼマット



国語の百人一首大会



社会のプレゼンテーション

# 学年だより 中3

## ～心に残ったこと・頑張ったことランキング～

推薦入試も終わり、いよいよ中等部生活もわずかとなりました。振り返ってみれば、中等部1年の頃は、新型コロナウイルス感染症の影響で入学式もなくオンライン授業からのスタートでした。あらゆる行事も制限された中で生徒たちが3年間を振り返ってみて、心に残ったこと、頑張ったことをランキングでお伝えします。

### 質問1 あなたが3年間で一番心に残ったことや行事は？

1位は同率でした!!

RANKING 第1位

剛健旅行

- 友達と山を14km走って、疲れて足が動かなくなるかと思ったけれど、ゴールした時の達成感はとても嬉しく、疲れが吹っ飛びました。また初めての宿泊行事で、友達と部屋で遊んだのが楽しかったです。
- 新型コロナウイルス感染症の影響で、3年間で初めてお泊りしました。友達と一緒に壺巻村の坂を14km走り、風呂に入って部屋の仲間と一夜を明かしたことがとても印象に残っています。
- 中等部初の宿泊行事であり、普段では味わえない自然の中を歩くことができた。また、周りの人たちの学校では見ることのできない一面も見ることができた。
- 初めての宿泊行事だったこと、自然の中を歩いたのが久しぶりで、空気もとてもきれいでした。歩き距離が長く、空気が薄いのと相まってつらかったけれど、歩き切った時の達成感は忘れられません。



RANKING 第1位

合唱祭

- クラス全体が金賞という目標に向かって一丸となり、放課後や朝練など空き時間も練習した。それによってクラス全体の協調性が生まれ、より一層クラスの雰囲気も良くなったと思う。
- 毎日朝から欠かさずに練習をして、ダメなところやできていないところをみんなで指摘し、練習しました。本番では練習以上の力を発揮できたと思っています。
- 合唱祭まで一週間になった頃、クラスのまとまりややる気が0の状態になり、新型コロナウイルス感染症の影響で学級閉鎖になってしまいました。どうなることやらと思いましたが、意外にも心一つで一致団結して、最高の一曲を届けられたと思います。
- 最初は朝練などの集まりも悪く、金賞という目標に向けて進む人が少ない中、級長や伴奏者の声かけにより、一人ひとりが意識を持つようになりました。毎日一生懸命練習した結果、金賞を受賞することができました。



RANKING 第3位

部活動

- 友人関係やあきらめない心などたくさんのことを教わった。大会や練習帰りもいろんなことがあった。心も身体も成長できたと思う。コロナで活動制限されたのも思い出となった。
- 昨年行くことができなかった東日本大会に、「今年こそは!」という思いで毎日練習を重ねた結果、東日本大会に行くことができ、さらに金賞も取ることができたので最高の思い出となった。
- 卓球部人生で初めて都大会に出ることができ、また8年ぶりの中等部都大会出場と聞いた時は嬉しかったです。

### 質問2 あなたが3年間で一番頑張ったこと、または行事は？

RANKING 第1位

部活動

- 3年間あきらめずに集中できた。最初は軽い気持ちで入ったバスケットボール部、しかし学年を重ねるごとに自分も本気で大会優勝したいと思うようになった。顧問とチームにはたくさん迷惑をかけたけれど、引退試合は今でも忘れられない一番の思い出となった。
- サッカー部に所属していたので、特に先輩後輩との関わり方が大切だと学び、緊張しながらも部活動中や部活動外に積極的にコミュニケーションを取った。そしてサッカーの技術を磨くことも同じくらい頑張った。
- 途中から入部したので、周りとの実力の差を埋めるために、毎朝早くから練習をしておいていかれないように頑張った。そして公式の試合に出ることができ、最後までみんなでプレーできた。
- 吹奏楽部の練習中、部員同士でぶつかることもありましたが、その時の解決策や後輩との接し方を先輩から学び、多くのことを部活動から学びました。
- ソフトテニス部部長という立場で、みんなをまとめながら試合に勝つためにたくさんの練習をしたり、相手ペアの観察や作戦などを練りました。
- スタメンには入れなかったけれど、3年間頑張ってきて最後の試合には出ることができた。また、つらいことがあっても練習に励んだ。ベンチでも全力で応援した。



RANKING 第2位

勉強

- 定期試験に向けた勉強を自主的に行うようにした。また漢字検定や数学検定などの資格を取ることができた。
- 1年の頃はテストの点数があまり採れず、補習に呼ばれたこともあった。しかし、失敗を繰り返さないよう計画的に勉強をするようになってからは、点数が伸び、学年順位も上げられるようになった。

RANKING 第3位

合唱祭

- 私は歌があまり得意な方ではないので、朝練習や帰りのHRの後に、指揮者や伴奏者と一緒に音取りを頑張りました。
- 高い音を出すのが苦手で、音楽の時間と家で練習をし、放課後に残ってみんなと協力してうまくいかないところを何度も練習しました。本番に近い朝にも早く来て声出しをしました。

# 学年だより 高1

## 現代文明論学年発表会

高校1年生は12月24日にアリーナにて、現代文明論の学年発表会を行いました。現代文明の諸問題に対して各班が向き合い、素晴らしい発表をしてくれました。参加者の感想をご覧ください。



真剣な表情で発表を聞いています



堂々とした発表でした

### 「クローン技術」《生命》

1組 橋本 翼

自分の考えていることを発表する舞台をいただき、それが優秀賞に選ばれたことはとても嬉しかったです。慣れない舞台上で内心ドキドキでしたが、自分の好きな分野でのスピーチはとても楽しく、高揚しました。周りのスピーチも勉強になるものばかりで、自分の知識の広がりを感じました。

### 「再生可能エネルギー」《環境》

2組 宿谷 旺佑

今回の現代文明論の発表は、今までで一番多くの人に聞いてもらい、僕自身人前に立つのが苦手なので、きちんと話せるかという不安がありました。しかし、苦手を克服するための大きなチャンスだと思って発表に挑むことで、多くを学ぶことができました。今後もいろんなことに挑戦していきたいです。

### 「これからの日本はどうなっていくのか」《福祉》

3組 青砥 実咲/安藤 泰我/川崎 有伽子

私たちは日本の人口の変化について発表をしました。少子高齢化が進むことで国内市場の縮小、労働力人口の減少などさまざまな影響があることを学びました。人口の変化によって消費や生産に関する問題が生まれてきてしまうことがわかったので、今後日本の少子化対策や雇用の喪失への取り組みに目を向けていきたいです。

### 「差別・LGBTQ」《人権》

4組 中村 紗琉/二ノ宮 那雪

私たちは、「人権」について発表しました。この発表をするにあたり、いろいろなことを知り、勉強することができました。大勢の人の前で、発言することはすごく緊張しましたが、自分にとってとても貴重な経験だったと思います。この発表を機にたくさんの人が「人権」について興味を持っていただけたら、とても嬉しいです。

### 「世界平和について」《平和》

5組 堤 琉衣/角田 夢夏/星野 真名

私は、発表テーマである平和について軽い言葉だと考えていました。しかし、平和について詳しく調べてみて、平和という2文字で表せないほどに複雑で難しく、多くの命がかかっているとても重い言葉だという認識に変わりました。これを機に平和について真剣に考えてくれる人が増えてくれたらよいなと思いました。

### 「インターネットトラブル」《情報》

6組 菅間 美海/松浦 堇/松本 紗恵里

私たちのテーマはインターネットトラブルです。私たちにあってインターネットは生活に欠かせないもので、安全に使用できればとても役立ちますが、一つ方法を誤ってしまうと思いがけない事態となります。インターネットを扱う際には冷静に状況を判断することが大切であり、自分自身も改めてインターネットの扱い方を考えていきたいと思いました。

### 「脳死について」《生命》

7組 須田 優来/田中 杏/横尾 萌南花

私はこの発表を通して、人によって考え方が多様であること、命の重さを決める息苦しさを学びました。臓器を待つ人々と提供できる人たちでは考え方が違い、どちらも命の尊重を目的にしているからこそ私はどちらが正しいのか判断し兼ねます。私はこの発表から臓器提供の過酷さを知り、提供すべきかそうでないか考え続けることが大切だと思いました。

### 「環境における諸問題」《環境》

8組 小倉 梨央/木原 莉沙子

私たちは環境問題について調べました。現代にはさまざまな環境問題があり、地球温暖化や絶滅危惧種の増加など、すでに深刻化している問題が多くあります。今回、それらを調べてみて、直接の解決はできなくとも、一人ひとりの行動の積み重ねが解決への1歩になると感じました。私たちの発表を通して、一人でも多くの人が意識を変えてくれると嬉しいです。

### 「転売について」《情報》

9組 青木 丈汰/松井 一泰

1学年全員の前で発表して、すごく緊張しましたがいい経験になりました。この発表を通して、今の日本の課題を知ることができました。またそれぞれのグループが、いろんな分野の日本の課題についての発表を聞くだけで、たくさんのことを学べたのでよかったです。今回学んだことを生かして、日本をより良くしていく活動に積極的に参加していきたいです。

### 「外来種が在来種へ与える影響」《環境》

10組 三上 史温

日本の貴重な在来種を守るには、さまざまな対策が必要ということを知ることができました。今回の発表で工夫した点は2つあります。1つ目はアニメーションを多く使用したこと。2つ目はグラフなどの資料を多く使用したこと。数字を見ることによりわかりやすく伝えられるほか、発表内容の理解を深めることができました。

# 学年だより 高2

## 日本語ディベート大会

1月14日(土)、1時間目にアリーナにて、「日本は、投票所での投票用紙による投票を廃止し、インターネット投票に切り替えるべきである。是か非か。」という論題で日本語ディベート大会が開催されました。結果は否定側が優勝しました。1、2年生の前での白熱した討論が繰り広げられました。各クラスの代表として参加してくれた生徒たちの感想を紹介します。

### 論 題

「日本は、投票所での投票用紙による投票を廃止し、インターネット投票に切り替えるべきである。是か非か。」

#### 肯定側

#### 立 論

##### 4組 加藤 政那

自分の役割は立論で、事前に文章を一から作りとても大変でしたが、先生や肯定側の人に推敲してもらってわかりやすい文章ができました。結果は負けてしまい、1,000人の前で意見を話すことは緊張しましたが、とても良い経験になりました。ありがとうございました。

#### 質 疑

##### 9組 中村 飛水

私の役割はその場で素早く考え、提示するので、緊張と不安でいっぱいでした。ですが、肯定側の仲間と一緒に考え、意見を共有することで、スムーズに仕事をこなすことができました。ディベートは、初めてのことでいっぱいでしたが、共に戦ってくれた仲間、先生がいたからこそできたことであり、何が大事かを学んだ経験でもありました。本当にありがとうございました。

#### 第一反駁

##### 6組 藤崎 葵

今回、私は肯定側の第一反駁として本ディベートに参加しました。限られた時間の中で、相手チームの立論への反駁や、チームの案を採択する利点の再主張を同時に行うのは非常に困難でしたが、自分の反駁が聴衆に伝わり、拍手をいただいた時の達成感は忘れられません。

#### 第二反駁

##### 3組 岸田 凜太郎

僕はこのディベートを通して、人と語り合う大切さを知りました。自分の意見を述べることや、相手の意見をしっかりと聞くことで、コミュニケーション能力を育むことができました。また、全員の前で発表することによって、今までにない体験ができたのでよかったです。

#### 記 録

##### 2組 伊藤 瑠希

自分の役割は反駁で、事前にどんな意見が来るのか、どう返せば良い反駁になるのかを、いろいろチームの人と話し合うことができました。当日は参加できなかったのですが、昼休みの話し合いの時間で意見を言いつけられたので、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。



男子メンバーで頑張りました!



無事に討論を終えて一安心!



否定側の勝利です!

#### 否定側

#### 立 論

##### 5組 葛島 楽歩

本番を終え、とても達成感を感じました。準備の段階では何度も集まって話し合いをし、準備期間はとても濃い時間を過ごせたと思います。本番では準備してきたことを十分に発揮できました。高校生活の中でこのような貴重な体験ができてよかったと思います。

#### 質 疑

##### 8組 柏 知里

私は否定側質疑として今回の日本語ディベートに参加しました。昨年に引き続きの参加となり、昨年の反省をもとに細かく情報収集、相手の思考を念頭に置きながら質疑内容を考えることを重視しました。昨年とは違う役割での挑戦となりましたが、ディベートを楽しむことができました。

#### 第一反駁

##### 7組 三上 晏黎

私は本番を終えて安堵感と達成感がありました。本番では緊張しましたが、チームの支えで乗り切ることができました。とても良いチームだったと思います。ディベートに参加できたことは、高校生活の中でとても良い経験だったと思います。この体験をこれからの高校生活で生かしていきたいです。

#### 第二反駁

##### 10組 高橋 真凜

このたび、初めてディベートに挑戦させていただいたのですが、思ったよりも調べが重要で、自分一人ではなく全体のチームとしての意見、考えをもとに発言しなくてはならないので、なかなか大変でした。しかしチームの皆さんとしっかり言葉を交わし、時間をかけて精密に調べることができたので、良い結果に持っていかれたのではないかと思います。

#### 記 録

##### 1組 丹羽 綱己

初めての経験で、思うようにいかないことも多々ありましたが、無事に本番を終えることができてよかったです。私自身、1,000人の前で何かをすることがなかったので、貴重な経験になりました。また、今回のディベートを通して、情報共有の難しさを学びました。今回学んだことを踏まえて、次に活かしていきたいです。

# 学年だより 高3

## 祝卒業

勉強や部活動など、仲間と共に励んだ日々もあとわずか。卒業に向けて各級長にクラスを振り返ってもらいました。

### 1組 在國寺 康介

私たち1組は、2年生の時から学年唯一の文系クラスでした。互いに仲が良く、八巻先生のもとで団結して過ごしてきました。普段は明るく陽気で、いざという時は全員で団結することができるクラスでした。時につまずくこともありましたが、そういった場合は八巻先生が助けてくださるので、建学祭も成功で終わることができ、高校生活の最後の1年間を楽しく過ごすことができました。

### 2組 安達 竣平

僕のクラスメイトはみんな優しい。そんな温かすぎる雰囲気でも過ごした高校最後の一年は、僕にとっては贅沢すぎるものだった。体育祭、みんなであんなにも声が枯れるまで応援するなんて、思っていなかったよ。建学祭、クラスの装飾、みんなで少しずつ作って完成した時の感動は忘れられないよ。僕の大好きな2組で過ごしたかけがえのない時間は最高の思い出です。

### 3組 浦山 秀斗

3組は、思いやりのある結束力の強いクラスです。担任の吉澤先生の誕生日をクラス全員でお祝いした際は、企画を立てる人、誕生日カードを作る人、飾り付けをする人、準備中に先生を廊下止める人など、役割分担をして盛大に行いました。さまざまな行事でも同じように結束力・行動力を発揮することができました。

### 4組 中川 真結

私たちのクラスは一言で言うと、好奇心旺盛なクラスだと思います。何事にも全力で取り組み、周りを見て助け合えるクラスです。3年生になってからは最上級生としての自覚とともに、一人ひとりが責任を持って行動できていたと感じています。特に建学祭では新たな取り組みである企業連携を行うなど、クラスで一致団結することができました。卒業まで残り少ないことを寂しく感じることができる素敵なクラスで、とても楽しかったです。

### 5組 佐藤 寛之

私たち5組は、他クラスがコロナによって閉鎖される中、一度も閉鎖になりませんでした。これもみんなの学校に行きたいという気持ちや、コロナに恐怖を与えたくらいだと思います。スポーツ大会では運動部を中心に活躍し優勝することができ、建学祭ではクラス全体で協力し、お客さんに満足してもらえる展示ができました。目標の「楽」を掲げ、最後まで走り抜けることができました!

### 6組 石川 泰進

僕たちのクラスは、メリハリのあるクラスだったと思います。授業担当の先生方に6組の授業は進めやすいと褒めてもらえることも多く、僕が授業を受けていても、静かな環境で取り組みやすさを常に感じていました。そして、イベントでは全員が一致団結し実行することができる、とにかくいいクラスで、居心地も良かったです。そのような6組のことが僕は大好きです。

### 7組 澤村 誠

クラス全体の仲は非常に良く、建学祭や体育祭などの行事にはクラス一丸となり、積極的に取り組んでいました。卒業して離ればなれになってしまふことを悲しんでいる姿が頻繁に見られ、別れを惜しみながらも残りの学校生活を全力で楽しもうとしている7組でした。

### 8組 森 温斗

3年8組は男女仲がとてつもないクラスです。ただ、クラスが始まった当初はけんかや議論などが絶えない日々が続いていて、クラスの雰囲気はあまり良くありませんでした。しかし、日を重ねることにお互いを理解し合っている姿ができて、体育祭や建学祭などの行事でも対立し合うことなく、協力し合って取り組むことができました。その結果、今のクラスがあると思います。このクラスで級長ができたことをとても嬉しく思います。またこのクラスで過ごした2年間は僕の宝物です。

### 9組 星川 心

3年9組はいつも明るく温かい雰囲気のクラスです。少し騒がしくなりすぎて先生方の注意を受けることもありましたが、それほど日々の生活や学校行事に、全員が全力で楽しむことができていたのだと思います。結果、今年度の学級目標を達成できたのではないのでしょうか。コロナ禍で始まり、コロナ禍で終わりを迎える高校生活ではありましたが、このクラスで充実した日々を過ごせたことを嬉しく思います。

### 10組 原 希々花

私たち10組は3年間クラス替えがないクラスです。個性豊かで仲間意識の団結力の強さが自慢です。特に建学祭では、団結力を活かして3年間で優秀賞と最優秀賞を取ることができました。クラス目標である「N2~つなげ俺達の軌跡~」の通り、3年間で積み重ねてきたことを結合(協力)して、より良いものにできたと思います。3年間で培ってきた協調性を忘れずに、それぞれの道でも生かしていきたいです。

## お知らせ

### 第59回(2023年度)建学祭テーマ決定

# Modern × Traditional



#### 第59回建学祭実行委員長 仁多見 哲平

今年度の第58回建学祭では「グローバル&イノベーション」というテーマのもと、人類を大きな集団と捉え、新しい技術や考え方を見つめることができました。来年度はそれとは逆に、これまで日本が作り上げてきた伝統的な物事に目を向け、それらが現代社会にどのように息づいているのかを知り、また今後どのように変化していくのかという考えを深めていくために「Modern × Traditional」をテーマとします。

「伝統」には信仰、風習、制度、思想、学問、芸術、もしくはそれらの精神的な在り方など、有形・無形に関わらず受け継がれてきているものを含め、それらが展示内容やプレゼンテーション方法として組み込まれることを期待しています。

## 行事予定

※予定が変更になる場合があります。

March 3月

April 4月

- 4日(土) 3年生を送る会(1時限目カット)  
高輪会入会式(高3)  
2限から特別授業日  
新入生制服採寸・教材販売(高校延納)
- 5日(日) **第74回(高校)・第14回(中等部)卒業証書授与式**  
卒業祝賀会(品川プリンスホテル)
- 6日(月) 振替休日(3/5分)
- 7日(火) **生徒自宅学習日**
- 8日(水) 答案返却 教科書販売(新高3)
- 9日(木) **生徒自宅学習日(～10日)**
- 11日(土) 特別授業(～16日)
- 16日(木) 特別授業(5・6限カット 3/4分)
- 17日(金) **生徒自宅学習日**
- 18日(土) **修了式・離任式** 教科書販売(新高2)
- 21日(火) **春分の日** 新入生クラス分け試験(高校)
- 22日(水) 振替休日(3/21分)
- 24日(金) 春期講習(中1・2:～27日)
- 25日(土) 第4回後援会委員総会

- 2日(日) 新入生登校日
- 3日(月) **第80回(高校)・第17回(中等部)入学式**
- 4日(火) **始業式・対面式・就任式・LHR**  
5・6限カット(4/1分)
- 5日(水) オリエンテーション(高1、中1) 特別授業(高2)  
通常授業(中2) 健康診断・写真撮影(高3、中3)
- 6日(木) オリエンテーション(高1)  
健康診断・写真撮影(高2、中2) 特別授業(高3)  
通常授業(中1・3)
- 7日(金) 健康診断・写真撮影(高1、中1) 特別授業(高2・3)
- 8日(土) 生徒自宅学習日
- 10日(月) **学園基礎学力定着度試験(高校)**  
外部実力試験(中等部)
- 11日(火) 振替休日(4/2分)
- 12日(水) 通常授業開始(高校)
- 15日(土) 短縮授業 保護者会①(高2・3、中2・3)  
校長による現代文明論授業(高1)
- 18日(火) 校医相談日①
- 21日(金) 新入生仮入部期間終了
- 22日(土) 短縮授業 保護者会①(高1、中1)
- 24日(月) 全校集会(中等部) 学年集会①(高3)
- 29日(土) **昭和の日**

## 編集後記

三寒四温とはよく言ったもので、うららかな春の陽光を感じる日が増えてきました。桜の花びらが落下する速度を秒速5センチメートルと表現したのは『君の名は。』などの長編アニメーションでお馴染みの映画監督・新海誠氏ですが、新しい季節は少しずつ、しかし着実に近づいているようです。ところで、魚偏に「春」と書くサワラは、幼魚のころはサゴシ、大きくなるとヤナギと呼ばれるようになる出世魚です。間もなく本校を巣立っていく3年生たちも、いつか立派な大人になってその名を世界でとどろかせてくれることでしょう。卒業おめでとう。(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>